

授業科目名	社会学(2000020)		
時間割名	社会学(35204)		
時間割担当	井上眞理子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

「社会学ってどういう学問だろう?」と思っているあなたへ。この授業では、現代日本のさまざまな問題、たとえば家族の絆のゆるみ、インターネット社会、高い自殺率、いじめ、少年非行、ブランド志向等を具体的な素材として取り上げ、社会学で分析していきます。社会学のテーマは多彩で、いわば「何でもあり」なのですが、問題を見る視点、分析の仕方、理論的枠組みに社会学の独自性があります。この授業で、あなたに社会学の楽しさを十分に味わってほしいと考えています。

学習の到達目標

現代の青年は「無気力・無関心」と言われていますが、学生の皆さんがこの授業を聴きまた学習することで、社会のさまざまな問題にいきいきとした関心をもってくれれば、成功!と思います。さらに欲を言えば、新聞の記事やTVのニュースをじっくりと読みかつ視聴し、その問題について自分の頭で考え、自分のことばで意見を述べてくれれば、大成功!!です。

授業方法・形式

具体的な社会問題・社会現象と社会学理論との間の往復運動を繰り返し、学生の皆さんが社会学の考え方、概念、理論を用いて問題を分析し、解決法を見出す面白さを実感できるように工夫します。たまには具体的な問題の分析・解決について教室で小レポートを書いてもらうことがあるかもしれません。

授業計画

- 第1回、現代日本の家族の概容
- 第2回、さまざまな家族問題・・・ 子ども虐待の増加
- 第3回、さまざまな家族問題・・・ 離婚の増加と親の離婚に巻き込まれる子どもたち
- 第4回、家族の社会学理論
- 第5回、インターネット空間の人間関係
- 第6回、現代の青少年とインターネット
- 第7回、インターネットの社会学理論
- 第8回、さまざまな青少年問題・・・ いじめと仲間集団
- 第9回、さまざまな青少年問題・・・ 少年非行は激増・凶悪化しているか
- 第10回、さまざまな青少年問題・・・ 少年非行の社会学理論
- 第11回、現代人のブランド志向・・・ 現代人は他人指向型
- 第12回、現代人のブランド志向・・・ 消費の社会学理論
- 第13回、社会的絆の弱まりと自殺・・・ 日本は自殺大国
- 第14回、社会的絆の弱まりと自殺・・・ 過労自殺と職場の問題
- 第15回、自殺の社会学理論

成績評価の基準

- 期末試験・・・80%
- 授業態度・・・20%

授業時間外の課題

メッセージ

教材・教科書

特にありません。

参考書

- ・井上眞理子編『家族社会学を学ぶ人のために』世界思想社
- ・井上眞理子『リスク・ファミリー：家事調停の現場から見た現代家族』晃洋書房